



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2006年（平成18年）11月15日号 No. 1380

目次

■ロシア食品機械見本市を視察して	服部 倫卓 1
■キーパーソン	7
タジキスタンのラフモノフ大統領が3選／7	
■トピックス	7
横河電機がロシア石油化学大手と戦略的パートナーシップ協定を締結／7	
■エトセトラ	7
2006年世界「清潔度」ランキング／7	
■ロシアNIS貿易会関連の行事予定	8
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート	8

ロシア食品機械見本市を視察して

はじめに

筆者は最近、なるべく機会を見つけて、ロシアで開催される各種の産業見本市を視察するように心がけている。2005年2月にモスクワで開催された食品産業の国際見本市「Prodexpo-2005」を目の当たりにして、見本市というものの意義を再認識させられたからである。その時の模様については、本速報の2005年4月5日号（No.1325）において、「モスクワ食品産業見本市視察報告」と題する文章を書いている。

そして、筆者は先日、出張でモスクワを訪れた際に、「Agroprod mash-2006」という見本市を見る機会に恵まれた。これは、食品機械をテーマとした、かなり規模の大きな国際見本市である。残念ながら、この分野において、日本企業のロシアへの進出可能性はあまり大きなものではなく、その意味では読者の関心事とはなりにくいかもしれない。しかし、たとえテーマが直接的な関心分野でないとしても、様々なヒントを提供してくれるのが見本市というものである。そこで、今回の速報では、1年半前の食品産業見本市報告のいわば続編として、食品機械見本市についてのレポートをお届けする。